

特定非営利活動法人 関西こども文化協会  
団体設立30周年記念シンポジウム

# こどもの 生きづらさを 超えて

「対話」によるケアと修復の役割を考え  
支援の実践につなげるために

こども支援を問い直し、愛情と信頼関係による「対話」を目指して

現代社会の生きづらさは、家庭・学校・地域のさまざまな場面に広がっています。格差や孤立が進むなか、児童虐待、いじめ、不登校、ヤングケアラー等、逆境的な環境を生きるこども達を取りまく課題は多様化しています。こうした課題に直面する中、当事者の保護者、支援にあたるカウンセラーやソーシャルワーカー、教師など、関わる大人一人ひとりの専門性や姿勢が改めて問われています。

今、こどもたちは大人に「こどもは権利の主体者であること」の認識を強く持つこと、「こどもの声を聴くこと」を求めています。

今回、「対話」をキーワードに、こどもの声を聴くことへの理解を深め、保護者との「対話」、あるいは、支援者間の「対話」についての意義と役割を学びたいと思います。

## 第1部

### 基調講演 いま「対話」の謎をひらく

齋藤 環 氏

精神科医、筑波大学名誉教授  
つくばダイアログハウス院長



## 第2部

### シンポジウム 「対話」の実践 こども支援の取り組みを通じて

シンポジスト

齋藤 環 氏

峯本耕治 氏 (関西こども文化協会代表理事・弁護士)

関西こども文化協会 こども支援部部長  
189電話相談員

コーディネーター

松浦 善満 氏 (和歌山大学名誉教授)

シンポジウムの開催日時、申し込みなどの詳細につきましては裏面をご確認ください。

主催：特定非営利活動法人 関西こども文化協会

後援：大阪府教育委員会、大阪市、大阪市教育委員会、東大阪市、東大阪市教育委員会  
大阪弁護士会、大阪府(申請中)

## 当日プログラム

- 13:00 開場・受付開始
- 14:00 開会宣言 開会挨拶・開催趣旨説明
- 14:10 第一部 基調講演 いま「対話」の謎をひらく  
講師：斎藤 環氏
- 15:40 休憩 (質問用紙回収)
- 15:50 第二部 シンポジウム 対話の実践 こども支援の取り組みを通じて  
シンポジスト：斎藤 環氏 (精神科医、筑波大学名誉教授、つくばダイアログハウス院長)  
峯本 耕治氏 (関西こども文化協会代表理事、弁護士)  
関西こども文化協会 189電話相談員  
関西こども文化協会 こども支援部部長  
コーディネーター：松浦 善満氏 (関西こども文化協会理事、和歌山大学名誉教授)
- 質疑応答
- 16:50 閉会宣言

## 講師紹介

### 斎藤 環 氏 Saito tamaki

1961年岩手県生まれ。精神科医。筑波大学大学院医学研究科博士課程修了後、思春期・青年期の精神病理学や「ひきこもり」支援の第一人者として長年研究・臨床に携わる。代表作『社会的ひきこもり』は国内外で大きな反響を呼び、同分野の基礎を築いた。また、対話を中心とした精神医療アプローチ「オープンダイアログ」の普及にも尽力し、多くの著書・講演を通じて若者のメンタルヘルス支援に取り組んでいる。

実施日時： **2026年5月24日(日)**  
**14時00分 - 16時50分 (開場:13時)**

参加費： **無料**

予約申し込みについて ※要予約

申し込み方法：メールまたはGoogleフォームからお申し込みください。

申込先メールアドレス：[event@kansaikodomo.com](mailto:event@kansaikodomo.com)

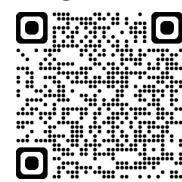
申込締切日：**2026年5月21日(木)**

(必要事項：氏名・連絡先〈電話番号またはメールアドレス〉)

※個人情報につきましては、今回のシンポジウム以外では使用いたしません。

お問い合わせ先：**06-6809-5613** (関文協) 平日 9:00 - 17:30

Googleフォーム



QRコードを読み込み  
必要事項をご記入ください。

## 会場情報

会場：大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター) 7階 ホール  
〒540-0008 大阪府大阪市中央区大手前1丁目3-49

最寄り駅・バス停

- ・OsakaMetro (旧大阪市営地下鉄)・京阪 谷町線「天満橋」駅 (1番出入口) から東へ約350m
- ・JR東西線「大阪城北詰」駅 (2号出口) 土佐堀通り沿いに西へ約550m。
- ・大阪シティバス「京阪東口」バス停からすぐ